様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

1 事業名	小鳥バス事業	コード	23114

2 担当部課	部等	産業振興部	課等	商業観光課	作成者	小口康生

3 事業概要				
目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
	政　策	産業の振興	施　策	観光の振興
	予算科目	観光宣伝費（小鳥の森事業）	業務委託	なし（直営）
	実施義務	その他（内部事務等）	国県補助	なし
	根拠法令	なし		

●事業の内容（DO）

4 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		塩嶺小鳥の森内を小鳥の森コーディネーターの案内により、自然を楽しみながら散策する。
目的	対象者	小鳥バス参加者
	意　図	小鳥バス参加者が、野鳥や塩嶺御野立公園の自然を楽しむ

5 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

塩嶺小鳥バスは、昭和２９年「小鳥の森は愛鳥精神」のもと、自然を楽しみ、自然を大切にしようと、日本野鳥の会諏訪支部の運営でスタートしました。毎年５月と６月の毎日曜日の早朝に、小鳥の森コーディネーターの先生の案内により『塩嶺小鳥の森』で開催している岡谷市を代表する事業であります。

≪通常イベント≫
〇上諏訪駅西口より、下諏訪町を経由し塩嶺小鳥の森までの各バス停から参加者を乗せ運行する。塩嶺閣より小鳥の森コーディネーターの案内により約２時間塩嶺小鳥の森を散策し、最後は、塩嶺閣において、当日確認できた小鳥などの話を聞く。

前年度の課題への対応	

6 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	塩嶺小鳥バス			単位	回
実績値	9	9	9		
＊指標の説明	イベント回数				
② 成果指標（指標名）	参加者数			単位	人
目標値	400	400	400	400	
実績値	373	413	410		
達成度	93.3%	103.3%	102.5%		
＊指標の説明	参加した人数				
＊目標値の設定方法の説明	３ヶ年の平均実績				

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	3,136,785	3,138,680	3,534,633	3,577,000
経常経費	3,136,785	3,138,680	3,534,633	3,577,000
臨時的経費				
＊臨時的経費の説明				

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		320,000	320,000	320,000	320,000
正規職員の人数（人）		0.04	0.04	0.04	0.04
③ 合計コスト（①＋②）		3,456,785	3,458,680	3,854,633	3,897,000
前年度比			100.1%	111.4%	101.1%
財源内訳	一般財源	3,456,785	3,458,680	3,854,633	3,897,000
	特定財源				
＊特定財源の説明					
④ 活動一単位あたりコスト		384,087	384,298	428,293	
前年度比			100.1%	111.4%	
⑤ コストに関する補足説明					

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
小鳥バス事業負担金	件数	1	1	1	1
	金額	550,000	550,000	550,000	600,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	550,000	550,000	550,000	600,000
	割合	17.53%	17.52%	15.56%	16.77%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性**　**高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性**　**高い**

評価項目		はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。		1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。		1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値　前年度比　99.3%	1	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値　達成度　102.5%	1	

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） 情報発信及びＰＲ活動の推進	
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 商談会ＨＰなどによる情報発信	
	改善開始時期	H29.4

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	A